

学会記事

◎第7回理事会（昭.32.12.17）出席者：内海会長，東，高坂，丸安，米屋，野田，逸見の各理事。議事：1) 11月中の行事その他報告，2) 昭和32年度土木賞委員会委員候補者を次のとおり常議員会に推薦すること。（委員）東 寿，青木楠男，伊藤 剛，岩井四郎，太田尾広治，神谷貞吉，小野木次郎，小野竹之助，小西一郎，佐藤寛政，種谷 実，平井 敏，星埜 和，松井達夫，米屋秀三。（各支部推薦）林 猛雄（北海道），原田千三（東北），大崎虎二（中部），村山朝郎（関西），内林達一（中四），渡辺寛治（西部）の諸君。（学会側）内海会長，米田，篠原副会長，国分編集部長，糸川会誌編集委員長，友永論文集編集委員長。3) 国鉄技術研究委託「高張力鋼鉄道橋研究委員会」の委員を次のように委嘱すること。

（委員長）田中 豊，（委員）青木楠男，沼田政矩，福田武雄，成瀬勝武，平井 敏，奥村敏恵，小西一郎，田原保二，村上永一，田中五郎，埴田清勝，友永和夫，高坂紫朗，多田美朝，中根金作の諸君。4) 各委員会委員委嘱のこと。a) コンクリート示方書解説委員会に後藤幸正君（東北大学助教授）を追加委嘱。b) 耐震工学委員会に高田孝信君（土木研究所構造研究室）を追加委嘱。c) 論文集編集委員会 第3部長（土質）谷藤正三君転出にともない後藤正司君（第1部委員）を後任に委嘱。第1部委員 後藤正司君の後任に奥村敏恵君を委嘱。第2部委員 内藤幸穂君（一身上の都合により辞任）後任に千秋信一君を委嘱。5) 「第2回原子力シンポジウム」共催学会として分担金7000円支出のこと。6) 1958年国際会議のうち土木関係会議に派遣代表候補者選考を「海外連絡委員会」に一任のこと。7) 33年5月の総会および第14回年次学術講演会については開催地を東京，期日を5月下旬として講演募集の予告をすること。8) 11月会員入退会承認。

◎各種委員会

1. 第7回会誌編集委員会（昭.32.12.23）出席者：糸川，丸安正副委員長，岡崎，南部，伊東，安藤（代田村），粟津，八十島，松本（代岡部），小林，奥田（代吉岡），南，小西（関西），後藤（東北）各委員，深谷幹事。協議事項：1) 投稿原稿審査報告，2) 原稿依頼状況，3) 依頼原稿の件，4) 土木賞について，5) 43巻の表紙の刷色について，6) 43巻2号登載原稿を次のとおり予定した。

近藤泰夫・他：鉄筋コンクリート中の鉄筋の電食現象およびセメント混和材料の影響について，隈部毅一郎：赤城山鋼索鉄道建設工事について，三野 定：建設技術の海外進出について，久宝 保・田中要三：開水路の平均流速公式について，谷本勉之助：逐次近似法による平方根，立方根の精度について，高橋敏五郎：寒冷地の一般土木について—とくに道路工事について—。

2. 第7回会誌抄録委員会（昭.32.12.4~5）出席者：

八十島委員長，伊能，岩間，垣中，小池，高秀，佐藤，堀井，松本，丸山，矢島，湯浅，渡部の各委員，山口前幹事，高橋幹事。議事：1) 43巻1号登載抄録4編を決定，2) 43巻1号文献目録を協議，3) 抄録および目録欄の拡張について審議，4) その他。

3. 第7回会誌編集小委員会（昭.32.12.5）出席者：糸川委員長，深谷幹事。議事：1) 43巻1号について最終的な打合せを行った，2) 表紙の刷色を検討，3) 12月号口絵写真の審議，4) 土木賞選定に関する件，5) その他。

4. 第9回コンクリート示方書解説委員会（昭.32.12.2）出席者：吉田委員長，国分，川口，樋口，深谷，伊東，三浦の各委員。議事：鉄筋解説第120~第125条の審議。第10回同委員会（昭.32.12.13）出席者：吉田委員長，国分，川口，関，三浦，伊東，樋口，深谷の各委員。議事：鉄筋解説第126~第142条審議。第11回同委員会（昭.32.12.18）出席者：吉田委員長，国分，山田，関，川口，畑野（代永倉），三浦（代松木），樋口，深谷，後藤の各委員。議事：鉄筋解説第143~第161条まで審議。第12回同委員会（昭.32.12.27）出席者：吉田委員長，国分，川口，三浦，樋口，後藤，関，深谷の各委員。議事：鉄筋解説第3編の改正条項を再審議，第1編および第2編4条，総則~49条の審議。

5. 第63回コンクリート鉄道構造物委員会（昭.32.12.6）出席者：吉田委員長，沼田，国分，平井（代），岡本（代），友永，坂本の各委員，池原，尾崎，川口，深谷，天野，松本の各幹事。議事：アーチ擁壁の審議。

第64回同委員会（昭.32.12.20）出席者：吉田委員長，沼田，国分，丸安，高坂（代天野），岡本（代佐藤），原口（代池原）の各委員，川口，白石，浅間，深谷，小寺の各幹事。議事：第二読会 橋台および橋脚 1条 一般より4条 土圧まで審議。

6. 論文集編集委員会（昭.32.12.10）出席者：国分編集部長，友永委員長，山口，大地，高田，安浪，嶋，岡田，粟津，後藤，市原，福岡，三木，春日屋，黒河内，渡部の各委員，徳平幹事。議事：1) 土木賞候補論文推薦に関する件，2) 3部会長に後藤委員を推薦，3) 1部会委員に奥村敏恵君を，2部会委員に千秋信一君を推薦，4) その他。

7. 第8回原子力土木技術委員会（昭.32.12.9）出席者：福田委員長，内海（代木村），岡本，神谷，近藤，篠原，種谷（代小松原），長山，藤原，米田の各委員。議事：1) 福田委員長から本日の会合は原子力発電KK原子炉地震対策委員会委員の岡本，神谷両委員から同委員会の動きについて報告を聴取する旨説明，2) 岡本委員から同委員会の英国に対する「英国型原子力発電所の耐震設計に関する提案」について説明，3) これに対し土木としての意見について各委員の間で討議された，

4) 原子力土木技術委員会の今後の仕事は土木としての原子力に関する問題点をあげてそのうちから一つずつ取り上げて研究を進めること(長山, 藤原両委員が次回までに起案のこと), 5) 次回は1月中旬に開き 16 ミリ映画「コールドーホール原子炉の Graphite Block の積み方実況」日本語版を映写の予定。

8. 原子力土木関係者協議会(昭.32.12.16) 出席者: 福田, 岡本, 長山, 藤原(以上原子力土木技術委員会委員), 最上, 星埜, 那須, 安藤, 岡本(東), 水越, 野瀬, 萩原(俊)の各氏。議事: 1) 福田委員長から原子力土木技術委員会で一応討議された英国コールドーホール原子炉設置に関し, さらに委員会外の関係者をまじえ土木としての問題点をとりあげ原子炉発電 K K 原子炉地震対策委員会での発言に対する意見をまとめるために開催の旨説明された。2) 岡本委員から報告説明。

I. 耐震委員会の経過報告: 1) 原子炉地震対策小委員会(原子力委員会), 2) 改組された原子炉地震対策小委員会(原子力委員会), 3) 地震対策委員会(原子炉発電 K K) 各委員会の動きについて説明された。

II. 東海村の地盤関係について報告: その結果基礎については地震に対して土木としての積極的意見が出せるのではないが, 構造物については調査団の報告をきいて英国の設計にもとづき実験を進めた上で研究してはどうかということになった。

9. 土木叢書委員会(昭.32.12.17~18) 出席者: 佐藤委員長, 国分, 星埜, 米元の各委員。議事: 1) 土木叢書在庫数の報告, 2) 今後の発行予定——コンクリート(国分正胤), 土質工学(最上武雄), ダム(執筆者未定), 河川(山本三郎), 基礎工(星埜 和), 港湾(天埜良吉の予定), 水理学特論(本間 仁), 都市計画(松井達夫), 鉄道(沼田政矩), 測量(丸安隆和), 溶接(奥村敏恵), 3) 33 年度中に河川, 都市計画外に 1 編出版の予定。

10. 第 11 回土木設計管理小委員会(昭.32.12.19) 出席者: 平山振興対策委員長, 比企委員長, 加納, 田中, 仁杉(代坂), 久保, 増山, 近藤, 塘, 八十島, 秋山(代近藤), 河野, 吉田(良)の各委員および鳥居秀夫氏, 磯部幹事。議事: 1) 鳥居秀夫氏(鉄道建設興業 K K) を臨時委員に委嘱, 2) 比企委員長より第 10 回審議の経過報告, 3) 第 4 章 管理業務の各条審議の結果, 修正点を書きかえること。

11. 溶接鋼鉄道橋設計示方書委員会および第 1 回高張力鋼鉄道橋研究委員会(昭.32.12.25) 出席者: 米田副会長, 田中委員長, 沼田, 平井, 小西, 田原, 田中(五), 埴田, 友永, 多田, 中根の各委員および国鉄関係幹事 8 名。議事: 1) 米田副会長より溶接鋼鉄道橋に関する委託研究終了に対し謝辞ならびに高張力鋼鉄道橋に関する委託研究開始について挨拶あり, 2) 田中委員長よりこれに対し挨拶あり, 3) 溶接鋼鉄道橋設計示方書

の研究報告書の説明, 4) 高張力鋼鉄道橋設計示方書と鋼鉄道橋設計示方書(昭和 31 年総裁達第 630 号)と相違すると考えられる条項(リベット構造)について研究し, 各条項目を審議の上各委員が分担起草することとなった。

12. 海外連絡委員会(昭.32.12.25) 出席者: 田中委員長, 安芸, 東(代加納), 石原(代小西), 千秋, 種谷, 富樫, 山本(代豊田), 藤井(代坂), 最上, 平井の各委員。議事: 1) 1958 年中に開催される下記国際会議の派遣代表者について協議。

- 1) 3rd International Congress for Prestressed Concrete. 5-10 May Berlin, Germany
第 3 回プレストレストコンクリート会議
- 2) 4th Congress of the International Water Supply Association. 24-31 May Brussels, Belgium
国際上水道協会第 4 回会議
- 3) Annual Assembly of the International Institute of Welding. 29 June-3 July Vienna, Austria
国際溶接学会年次会
- 4) 6th International congress of Large Dams. 15-19 Sept. New York, U.S.A.
第 6 回国際ダム会議
- 5) Meeting of the Union of Testing and Research Laboratories for Materials and Structures.
材料構造試験所連合会議
- 6) Meeting of the Permanent Committee of the International Association for Bridge and Structural Engineering.
国際橋梁構造工学協会常任理事会
- 7) 第 23 回国際住宅および都市計画会議
- 8) 国際かんがい治水, 排水委員会第 9 回執行理事会
- 9) 国際測地学地球物理学連合
国際科学水文学部会浸しよく委員会
- 10) 国際交通工学研究会

支 部 だ よ り

東北支部(昭.32.12.24) 東北地区常議員大谷 英君転出にともない, 後任に高木 健君(宮城県土木部長)を補選した旨報告があつた。

中部支部(昭.32.12.16 報告) 第 6 回幹事会(昭.32.9.10) 出席者: 井上幹事長外 20 名。議題: 報告事項 A) 8 月見学会について, B) 支部大会について, C) 研究発表会について, D) 海岸工学講演会について, E) 土木技術者について。協議事項: A) 9 月行事について, B) 評議員の委嘱について。第 7 回幹事会(昭.32.10.15) 出席者: 井上幹事長外 19 名。議題: A) 9 月見学会について, B) 支部大会について, C) 研究発表会について, D) その他。第 8 回幹事会(昭.32.11.11~12) 出席者: 井上幹事長外 19 名。議題: 報告事項 A) 支部大会について, B) 役員の異動について, C) 土木賞委員について。協議事項 A) 12 月行事について, B) 1 月行事について, C) 講演会その他について。役員会(昭.32.10.15) 犬山水道局寮において出席者 25 名。見学会(昭.32.9.28) 中部日本自動車学校その他, 参加者約 60 名。研究発表会(昭.32.11.2) 石川県職員研修所において, 出席者約 60 名。役員異動 新任:(評議員) 大谷 英,

梅木一郎, 谷藤正三の諸君。(幹事) 野田二郎, 飯田 薫, 富田善明, 増山義邦, 山根達雄の諸君。辞任:(評議員) 紙谷斎次, 宮田隆一郎, 長浜正雄, 奥田秋夫, 佐藤康治の諸君。(幹事) 野原真孝, 中条隆一郎, 村瀬 清, 宮脇 潤, 三浦孝雄の諸君。

関西支部 (昭.32.12.2) 商議員の異動: 新任 小幡敏男君, 退任 下平伊那三君。

関係学協会その他

1. 日本工学会 a) 各界首脳者会議の報告 (篠原副会長 32.11.27 追加報告) イ) Hathaway 氏提案の主旨は賛成である, ロ) 資金の面が問題であるから, 他の国の例をきかせてもらうよう連絡することとなった。b) 定例理事会 (米屋理事 32.12.5) 各界首脳会議について, c) 理事会 (昭.32.12.18) 米屋理事出席, 科学技術庁から送られたアジア諸国工業会議について。工学会事務研究会 (昭.32.12.20) 工学会事務研究会綱領について協議。

2. 都市不燃化同盟 (昭.32.12.3) A. 理事会および上半期評議員会

a) 評議員会: 1号議案 防火建築帯造成助成予算増

額を期する件, 2号議案 中高層耐火建築物等建設資金融資予算増額を期する件, 3号議案 公共建築物の徹底不燃化も期する件

以上3案を承認し運動方法を理事会に一任。

b) 理事会: 都市不燃化運動史に関する件, 宣伝映画製作に関する件

c) 講演: 人工衛星について 宮地東京天文台長, 題未定 安藤理事長 B. 公営併存住宅見学会 (32.12.10)

3. 日本生産性本部 技術者養成講習会 (昭.32.12.9)

4. 国際技術協力協会 「第4次貿易協定の見とおしと日中経済技術協力」に関する討論会 (昭.32.12.10)

5. 造船協会 会長交替 (昭.32.11.16 付) 新会長 渡辺恵弘氏 (九州大学教授) 旧会長 加藤 弘氏。

6. 新帰朝者 左合正雄君 (昭.32.12.5) 原子力に關し欧米各国視察, 松尾新一郎君 (昭.32.12.13) 土質工学会議に出席の後欧米視察, 石原藤次郎君 (昭.32.12.19) アメリカ技術教育視察, 末松 栄君 (昭.32.12.13) 欧米各国の土木事情視察, 小沢久太郎君 (昭.32.12.8) 東南アジア訪問。

学会誌への御投稿について

学会誌へのご投稿を歓迎しております。できるだけ全会員の方にご利用いただきたいのが学会誌の念願であり、固苦しくお考えにならずに、ごく気軽なお気持ちで投稿して下さい。技術相談、会員欄、口絵、ニュース等、皆様のために広く門を開いてお待ちしております。【編集部】

会員現在数 (昭.32.12.31 現在)

名誉員	賛助員	特1級A	B	C	特2級	特3級	正員	准員	学生員	合計	増加
22	30	14	11	65	112	92	7286	5119	1218	13969	113

昭和32年12月分入退会報告 (昭.32.12.1~12.31)

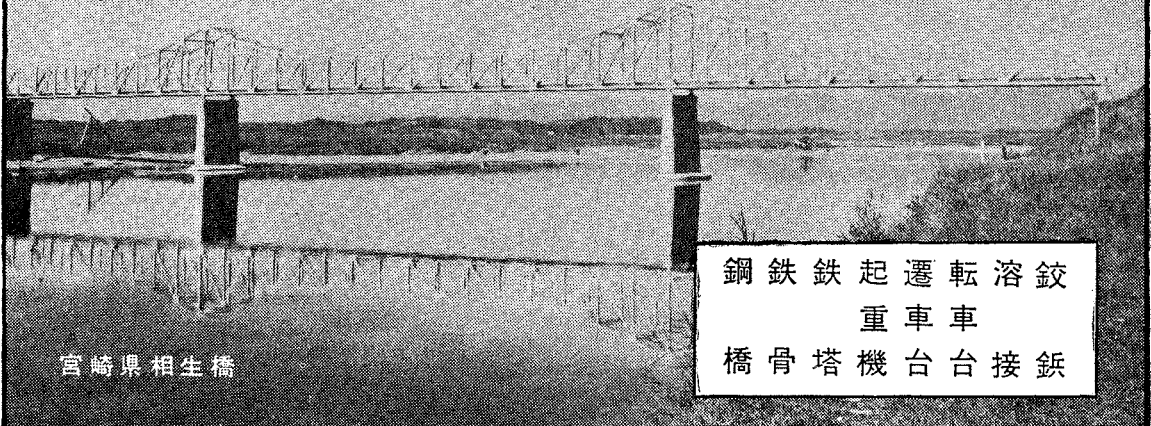
1. 入会 132名 (正 21, 准 25, 学生 82, 特1級C 1, 特2級 2, 特3級 1)
2. 退会 19名 (正 8, 准 11)
3. 転格 11名 (准より正へ 2, 学生より准へ 5, 特3より特2へ 2, 特2より特1Aへ 1)

正員	塚本精太郎君	名古屋市市中村区元中村町2の1	昭和32年12月4日逝去	享年66才
正員	小川勝君	札幌市南9条西20丁目	昭和32年12月18日逝去	享年53才
准員	Mr. Savang Keochinda	タイ国海軍中尉	昭和32年	逝去 享年38才

昭和33年1月10日印刷
印刷者 大沼正吉
編集兼発行者 中川一美
定価 100円

昭和33年1月15日発行
印刷所 株式会社技報堂
発行所 社団法人土木学会
振替 東京 16828 番
土木学会誌 第43巻 第1号
東京都港区赤坂溜池5番地
東京都新宿区四谷一丁目(外濠公園入口)
電話 (35) 5130・5138・5139 番

KSKの橋梁



宮崎県相生橋

鋼鉄起遷転溶鉸
重車車
橋骨塔機台台接鉸



汽車製造株式会社

本社 東京都千代田区丸ビル367区 電話 和田倉(20)1361~4
橋梁工場 大阪市此花区島屋町406 電話 此花(46)2851~9



小型・軽量・堅牢

サイクロ モーターフリー

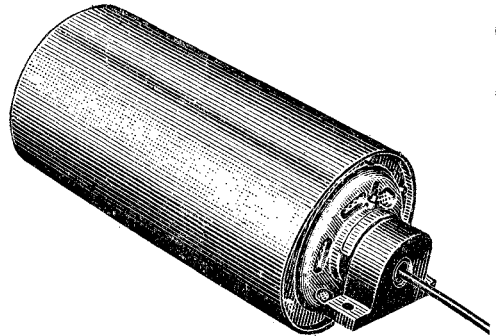
特長

サイクロ減速機の使用により下記の特徴を有しています。

1. 極めて小型、軽量です。
2. 効率よく、運転が静粛円滑です。
3. 長寿命で故障がなく、しかも保守が簡単です。
4. ドラム周速度はサイクロ減速機を取換えることにより簡単に速度変更が出来ます。
5. 信頼出来るモーターを使用しています。

種類

モーター 1/4HP~3HP
周速度 26~115 m/mn (60~)
21~ 97 m/mn (50~)



住友機械工業

本社 大阪市東区北浜5の22 住友ビル
東京支社・福岡営業所・札幌駐在員